

Outlook で送られたメールの見えない・開けない添付書類を受信者側で解決する為のツールです。

使い方は以下の通りです。

1. ダウンロードした zip ファイルを解凍して(展開 : Windows10 では、ダブルクリックすると解凍したフォルダができる)、出てきた「DecodeWinMail.vbs」ファイルをデスクトップなど適当な場所に置きます。注 : 淡青会 HP からは、「デコードスクリプト zip ファイル」を右クリックして、「対象をファイルに保存」(IE)、「名前を付けてリンク先を保存」(Firefox)などで保存します。ブラウザにより表現が違います。
2. Outlook で送られた WINMAIL.DAT が添付されたメールをファイルメニュー/保存/ファイルに保存、或いはファイルメニュー/名前を付けて保存/ファイルなどから適当な場所に保存します。(eml ファイルができます。) 注 : Gmail 等の Web メールでは、この機能が無いので使えません。
3. その eml ファイルを、「DecodeWinMail.vbs」ファイルのアイコンに重ねます。
4. ファイルの隣に同名のファイルができますので、これをクリックするとメールソフトに添付書類が復元されたメールが現れます。そこから添付書類を取り出します。

本スクリプトは、下記 URL の記事により作成したものです。Windows 10 で、Windows live メール、Mozilla thunderbird で動作確認しています。他のメールソフトでも動作するはずですが、Mac や Ubuntu では動作しません。

<http://outlooklab.wordpress.com/2007/12/01/outlook-express>

ご不明の点は、井出 朗 ide-aki@sky.email.ne.jp までご連絡ください。

附： Outlook の代替えソフト

添付書類付きのメールを配布する可能性のある人は Outlook 以外のメーラーを使われることをお勧めします。代替えするメーラーをいくつかあためてみましたが理想的なメールソフトはないみたいです。

Mozilla Thunderbird は有力候補の一つです。Windows 10 への対応も最近明言されたみたいです。半年使った経験では、font などに難ありますが Windows live メールからの移行を含めてまあまあ使えるかなと思います。使っているとどうしたら良いかな、ということがいろいろ出てきますが、その時下記のホームページが役に立つこともあるかと思えます。

